

嫌がらせ犯罪のない世の中へ。

集団ストーカー、テクノロジー犯罪
の法整備にご協力下さい。

海外ではTI (Targeted Individual) 「狙われた個人」と呼ばれ、世界中に大勢の被害者がいる犯罪です。被害者は長年人権侵害を受け続けています。あなたもいつ狙われるか分かりません。

集団ストーカー



発行元：脱法型新犯罪周知防犯ボランティア

～集団ストーカー・テクノロジー犯罪・エレクトロニックハラスメント～

テクノロジー犯罪 に関係している 最近のニュース

ナゾの頭痛・耳鳴り・脳損傷...CIA職員ら200人超、全世界で「ハバナ症候群」に - 読売新聞

<https://www.yomiuri.co.jp/world/20211016-OYT1T50236/>

米外交官謎の体調不良
ハバナ症候群に支援法 -
日テレNEWS24

<https://www.news24.jp/articles/2021/10/09/10953562.html>

産経新聞東京朝刊
2021/10/09(土)
「テクノロジーと人類」に
マインド・リーディングの
危険性紹介

内閣府が30億円を投入してテレパシーや脳情報の出し入れを実現しようとしています。

米国ではハバナ症候群の被害者を支援する法律が制定されました。

ハバナ症候群は電磁波攻撃の可能性が高いと言われる事件です。

参考資料：アメリカ議会資料 ハバナ 2021年の法律

<https://www.congress.gov/bill/117th-congress/senate-bill/1828?q=%7B%22search%22%3A%22Havana%22%7D&s=5&r=3>

産経新聞では思考を読み書きしたり、他者と繋げる技術が紹介されています。

心のプライバシー侵害などの倫理的な危険性も同時に紹介されており、これはまさにテクノロジー犯罪に使われている技術です。内閣府のHP「ムーンショット計画」も御覧ください。【計画1 頭で思い浮かべた言葉や行動を他人に伝える技術変革】https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/gaiyo/ms1_kanai.pdf

30年後の話でもなく、軍部だけの話でもありません。一般人に対しても悪用されている技術です。あなたもいつ狙われるか分かりません。

この犯罪に問題意識を持ち、犯罪撲滅のための法整備にご協力ください。

発行元：脱法型新犯罪周知防犯ボランティア

～集団ストーカー・テクノロジー犯罪・エレクトロニックハラスメント～